

北海道教育委員会「S-TEAM教育推進事業」  
令和5年度（2023年度）授業研究(改善)セミナー



## 道央・地理歴史 実施報告

令和5年12月14日（木）、北海道札幌国際情報高等学校を会場に「教科・科目における探究的な学び（主体的・対話的で深い学びの実現）」をテーマとして、中項目C(2)「生活圏の調査と地域の展望」を単元とした授業研究セミナーを開催しました。道央ブロックを中心に、全道から24名（会場20名、オンライン4名）の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、授業改善の参考として御活用いただければと思います。

### 実施状況

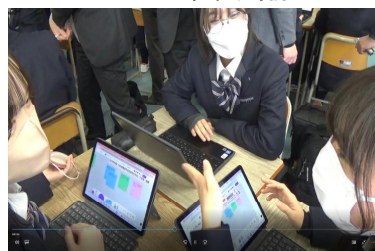
#### 【学習指導案検討会】

本セミナーの研究授業の実施に向け、道立高校教諭6名、道教委指導主事・研究研修主事3名、大学教授等3名から成る「授業研究チーム」を編制し、オンラインで学習指導案の検討を3回実施しました。学習指導案検討会での協議の中心は、「学習者がより質の高い課題を見出すためにはどのようなアプローチが必要となるか」でした。検討会での議論を通して、「(1)年間を通した『問い』の提示」「(2)前単元（B：国際理解と国際協力）における『プチ探究』の実施」「(3)授業における3段階の課題設定プロセス（①現状と理想のギャップから見出す、②価値を見出す、③他者と意見交換する）」の3点が、学習者のより質の高い課題を見出すためには有効なのではないか、という研究仮説が設定され、授業者は、この研究仮説に沿って学習指導案の改善を図りました。

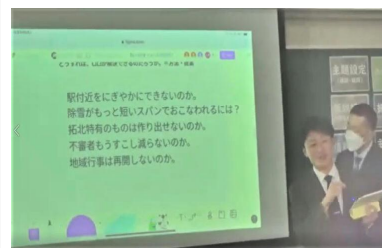


#### 【研究授業（実践発表）】北海道札幌国際情報高等学校 成田 冬真教諭

科目名「地理総合」の単元「生活圏の調査と地域の展望」において、「学習者が地域社会の持続性に着目し、深刻性や重要性といった根拠を基にした適切な課題を設定する」ことをねらいとして、研究授業を行いました。この授業の中で、生徒は、「あこがれる生活圏の姿」を考察し、生活圏の理想と現状のす



れや隔たりから課題を設定しました。その上で、「その課題が解決されることで、幸福を受



受するのは誰なのか」などのSQに取り組むことで、設定した課題の価値を考察し、その価値についてグループ内で意見交換を行うことで、課題を修正して洗練させていきました。

授業終了後、参加者は、学習者が研究仮説についてどのように効果を感じているかについて、インタビューを行いました。

[学習指導案リンク](#)



### 【研究協議】「地理歴史科の授業における探究的な学びの在り方について」

研究授業実施後に、「授業における3段階の課題設定プロセスは有効であったか」及び「年間を通して行う取組は有効であったか」を柱に研究協議を行いました。

グループ協議を通して、参加者からは「年間を通じた問いの提示やプチ探究が今日の活動に効いていた」「SQを通じた問いの価値付けはかなり有効であり、課題の修正につながっていた」「グループ構成員の住む地域を散らした方がより議論が活発になるのでは」等の意見が上がっていました。



### 【助言】国立大学法人東京学芸大学 日高 智彦 准教授

研究協議実施後、「授業研究チーム」に御協力いただいている、東京学芸大学の日高准教授から、「教科・科目における探究的な学び」に関する助言をいただきました。

日高准教授は、「探究的な学びにおける知識は、外部（環境）と内部（既存の知識）との相互作用によって構成されるものであり、本時の授業は、SQによる価値付けや他者との意見交換等により、生徒の課題設定における外部と内部との相互作用を作り上げており、探究の学びをどのように進めればよいかを明確に示してくれた」と評価しました。また、「科目の構造の理解とゴールへの見通しが求められる地理総合において、より良い授業を作っていくには、今回の研究協議のような授業検討を行うことが有効であり、引き続きこのような機会を設けることが重要である」と研修機会の確保についても助言いただきました。



## セミナー参加者の声

### 【参加者の声】

- 授業において、探究活動を行うことの重要性を実感できた。
- 探究の重要性はもちろんのこと、ICT活用の重要性を感じることができたのは大きな成果だった。
- 生徒が課題を設定する学習において、それまでの単元や前時に課題を設定する練習を繰り返すことで、スムーズな課題設定が行えることがとても勉強になった。
- 今日の実践は、他校でも生徒の実態に合わせて追試することも可能であり、今後の身近な地域の探究に関する授業の展開に大きなヒントになった。
- 他校の先生方の授業テクニックや指導方法を聞くことが、これまでなかなかできなかったため、とても良い機会となった。今後は積極的に参加していきたい。

### 【アンケートの結果（一部）】

- 1 今回の実践発表・研究授業・研究協議において、教科における「探究的な学び」又は「主体的・対話的で深い学びの充実」に関する理解は深まりましたか。
  - ・大いに深まった **100%**
- 2 今回のセミナーは、あなたの今後の授業改善に役立ちますか。
  - ・大いに役立つ 92.9%      ・役立つ 7.1%